

2006年11月24日

株式会社マルハグループ本社

2007年3月中間期連結決算概要



MARUHA

1. 2007年3月中間期連結経営成績概要

	実績	前年	前年比	当初計画	計画比
売上高	 3,651億円	3,483億円	104.8%	3,650億円	100.0%
営業利益	64億円	62億円	103.2%	90億円	71.1%
経常利益	62億円	70億円	88.6%	80億円	77.5%
当期利益	12億円	12億円	100.0%	32億円	37.5%

2. 上半期のトピックス

- 4月
 - アイシア(株)買収、連結子会社化(ペットフード事業)
 - 北九州魚市場と佐賀魚を合併
- 5月
 - 大阪魚市場(株)と近畿地荷受事業の統合に関する基本合意締結
- 7月
 - 自己株(優先株)取得・消却(119億円、11,900千株)
 - 第一回無担保転換社債型新株予約権付社債発行(120億円)
 - 大連遠洋マルハ食品有限会社設立(中国缶詰製造・販売)
- 9月
 - 神港魚類(株)完全子会社化
 - 日新タンカー(株)、(株)マルハレストランシステムズを売却

3-1. 資本政策－1

優先株式の一部取得・消却及び無担保転換社債型新株予約権付社債(転換社債)の発行

優先株式に関する抜本的な資本政策の完了

優先株式の一部取得・消却及び転換社債の発行

優先株式の取得・消却

取得・消却額 : 119億円(発行総額200億円)
消却日 : 2006年7月31日
買入先株主数 : 5社(銀行5行)
買入後株主数 : 20社(事業法人16社、損保4社)



転換社債の発行

発行額 : 120億円
発行日 : 2006年7月4日
転換可能期間 : 2006年7月5日～2008年7月3日
転換制限株数 : 4,500万株
資金使途 : 全額を優先株買入資金に充当

本資本政策の意義

- ✓ 将来的な需給悪化懸念に対し前倒しで対応しました
- ✓ 過半を超える優先株式の取得・消却を実施することで、資本政策の機動性及び柔軟性の確保を実現
- ✓ 過度な希薄化を抑制しつつ、優先株式に代わる資本補強を実現
 - 転換社債について転換株数の上限を設定

3-2. 資本政策 - 2

2005年3月: 優先株式の発行

発行額 : 200億円(普通株式への転換権付)
 発行日 : 2005年3月25日
 転換可能期間 : 2006年9月1日~2015年3月24日
 割当先 : 25社(銀行5行、損保4社、事業法人16社)
 資金使途 : コア事業への設備投資

2006年7月: 優先株式取得・消却

取得・消却額 : 119億円 資金充当
 残額 : 81億円
 消却日 : 2006年7月31日
 取得先株主 : 5社(銀行5行)

2006年7月: 転換社債の発行

発行額 : 120億円
 発行日 : 2006年7月4日
 転換可能期間 : 2006年7月5日~2008年7月3日
 転換制限株数 : 4,500万株
 資金使途 : 全額を優先株買入資金に充当

2006年9月: 優先株式転換行使

転換額 : 10.7億円
 転換株数 : 3,627,118株
 (ご参考: 10月末現在)
 残額70.3億円

2006年9月末時点: 転換状況

転換額 : 80億円(残額40億円)
 転換株数 : 36,734,885株
 (ご参考: 10月末現在)
 120億円全額転換済(転換株数: 44,945,065株)

株式交換

2006年9月: 神港魚類完全子会社化

株式交換日 : 2006年9月1日 発行普通株数 : 11,137,022株

発行済普通株式総数

2005年3月末

300,000,000株

2006年3月末

300,000,000株

2006年9月末

343,288,845株

2006年10月末

359,709,205株

4. ユニット別上期事業状況

水産セグメント	上期計画との状況比較
漁業・養殖ユニット（国内）	養殖魚の市況回復により養殖事業好調
（海外）	海外エビ事業更に悪化
北米ユニット	すり身、フィレー市況高値継続なるも助子市況下落
水産商事ユニット	為替の影響少なく利益率正常化
荷受ユニット	一部在庫処分損計上
戦略販売ユニット	原料マグロ高騰
食品セグメント	
加工食品ユニット	冷凍食品の価格転嫁進まず
畜産ユニット	計画通り
化成品ユニット	計画通り
アジア・オセアニアユニット	缶詰原料の鮪鰹高騰
保管物流セグメント	
保管物流ユニット	一部貨物の取り扱い減少

5. 上半期営業利益差異分析(当初計画比)

水産セグメント

- 養殖はまち・かんぱちの市況改善等
- 海外エビ合弁事業改善環境の悪化
- 北米ユニット助子相場低迷
- 荷受けユニット在庫処分等
- 原料鮪高騰による戦略販売ユニット収益悪化

△9億円

+5 億円

△5 億円

△2 億円

△5 億円

△2 億円

食品セグメント

- 冷食原料高コストアップの販売価格への転嫁遅れ
- 原料マグロ高騰によるタイ缶詰事業への影響

△8億円

△5 億円

△3 億円

保管物流セグメント

△3億円

その他事業他

△6億円

総 計

△26 億円

6. ユニット別下期状況見通し

水産セグメント	計画対比の状況見通し
漁業・養殖ユニット (国内)	養殖魚の市況引き続き好調予想により増益
(海外)	海外エビ事業環境悪化により減益
北米ユニット	漁業環境悪化による操業効率の著しい低下により減益
水産商事ユニット	利益率正常化により計画通り推移
荷受ユニット	魚価の回復傾向続き計画通り推移
戦略販売ユニット	原料マグロ高騰を価格転嫁し計画通り推移
食品セグメント	
加工食品ユニット	冷凍食品の収支改善
畜産ユニット	計画通り推移
化成品ユニット	計画通り推移
アジア・オセアニアユニット	缶詰原料の鮪鯉高騰によるコストアップ続き減益
保管物流セグメント	
保管物流ユニット	ほぼ計画通り推移

7. 下期営業利益未達要因(当初計画比)

水産セグメント

- 養殖事業好調継続
- 海外エビ合弁事業環境悪化
- 北米ユニット収支悪化

△10億円

+2億円

△5億円

△7億円

食品セグメント

- アジア・オセアニアユニット収支悪化

△3億円

△3億円

保管・物流セグメント

△1億円

その他

△10億円

下期計 △24億円

8. セグメント別2006年度通期計画

単位：億円

セグメント		2006年度 修正計画	2006年度 当初計画
営業利益	水産セグメント	93	112
	食品セグメント	61	72
	保管物流セグメント	17	20
	その他	10	28
	全社	△36	△37
	合計	145	195
経常利益		125	165
当期利益		40	55

9. 「ニューウェーブ21」成長戦略投資

• 北米に於ける漁船宛出資・助宗フィレー生産設備増設	12億円
• 北州食品(株)買収・オルカベイシーフーズ社(米国)への出資	15億円
• 下関食品工場新設	14億円
• アイシア(株)の買収	45億円
• キングフィッシャーグループ(タイ)による冷凍食品工場新設	20億円



合計 106 億円

10. 中期経営計画「ニューウェーブ21」について

“ニューウェーブ21”（2005～2007年度）

グループ経営の強化

- ・ 守りの経営から攻めの経営へ
- ・ 戦略セグメント／事業ユニットによるグループ経営

成長戦略

- ・ 「選択と集中」の強化
- ・ 「魚」をコアとした商品開発と市場開拓

- ・ 海外戦略への取組み強化 
- ・ コア事業（水産・食品）への集中的な設備投資

2006年11月24日

マルハグループ

2007年3月中間期連結決算説明



MARUHA

1. グループ企業の状況

	当中間期			前 期 末			増 減		
	国内	海外	合計	国内	海外	合計	国内	海外	合計
関係会社									
子 会 社	68	37	105	78	33	111	△ 10	4	△ 6
関 連 会 社	23	39	62	25	23	48	△ 2	16	14
関 係 会 社 合 計	91	76	167	103	56	159	△ 12	20	8
連結の範囲									
親 会 社	1		1	1		1			
連結対象子会社	56	22	78	61	18	79	△ 5	4	△ 1
持分対象子会社		2	2		2	2			
持分対象関連会社	5	5	10	6	5	11	△ 1		△ 1
連結グループ合計	62	29	91	68	25	93	△ 6	4	△ 2

2. 2007年9月中間期(2006年9月)連結損益計算書



単位：億円

	2006年9月期	売上高比	2005年9月期	売上高比	前期比較
売上高	3,651	100.0%	3,483	100.0%	168
売上原価	3,246	88.9%	3,095	88.9%	151
売上総利益	405	11.1%	388	11.1%	17
販売費・一般管理費	341	9.3%	326	9.4%	15
営業利益	64	1.8%	62	1.8%	2
営業外収益	24		33		△ 9
営業外費用	26		24		2
経常利益	62	1.7%	70	2.0%	△ 8
特別利益	15		33		△ 18
特別損失	27		77		△ 50
税金等調整前当期純利益	50	1.4%	26	0.7%	24
法人税等	33		13		20
少数株主利益	5		2		3
当期純利益	12	0.3%	12	0.3%	0

3. セグメント別売上高・営業利益明細(前年同期対比)

単位：億円

		日本 増減		北米 増減		ヨーロッパ 増減		アジア 増減		その他 増減		消去・全社 増減		連結合計 増減	
水産	売上高	2,576	+116	123	+5	17	+5	0	+0	3	+0			2,719	+126
	営業利益	34	+5	14	△ 3	0	+0	△ 1	△ 1	△ 4	△ 2			43	△ 1
食品	売上高	718	+36					82	+11	5	+5			805	+52
	営業利益	24	+2					2	△ 1	0	+0			26	+1
保管 物流	売上高	73	△ 5											73	△ 5
	営業利益	7	△ 4											7	△ 4
その他	売上高	47	△ 4			0	△ 3			7	+2			54	△ 5
	営業利益	5	+2			0	+1			0	+0			5	+3
消去 全社	売上高	1		△ 1										0	
	営業利益	△ 1	△ 2	1	△ 1			2	+2	3	+4	△ 22	△ 1	△ 18	+3
合計	売上高	3,414	+142	122	+5	17	+2	82	+11	15	+8			3,651	+168
	営業利益	69	+3	15	△ 3	0	+1	3	+0	△ 1	+2	△ 22	△ 1	64	+2

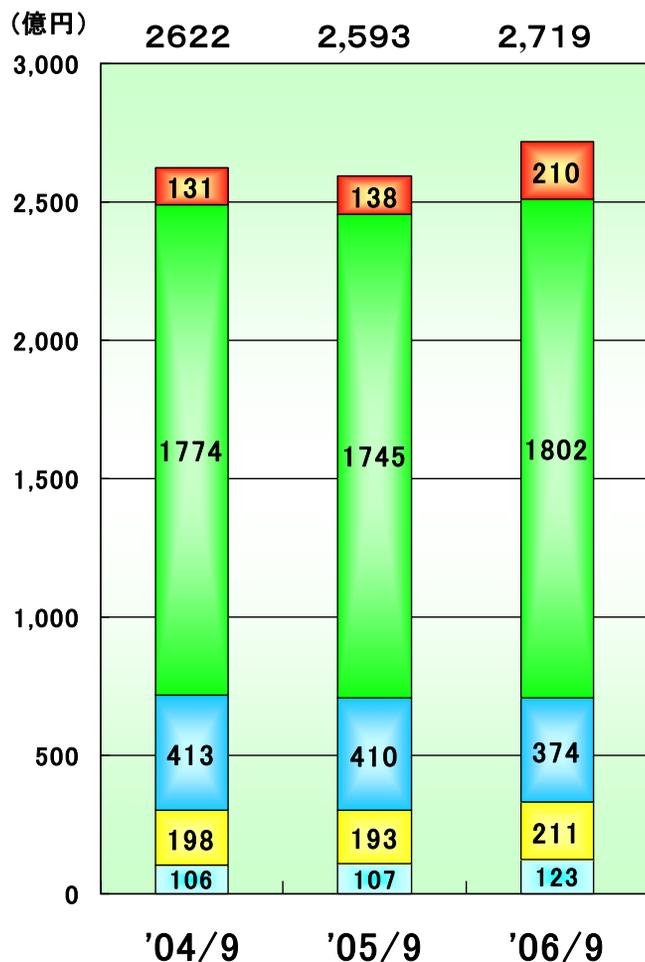
4. 2007年3月中間期のユニット別実績

単位：億円

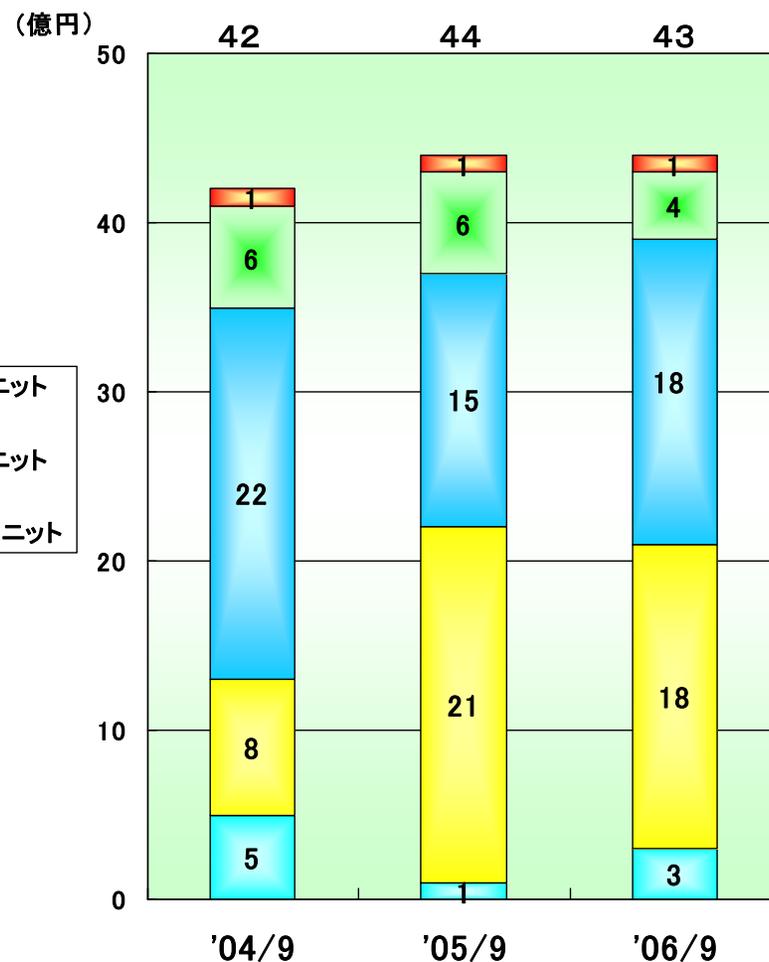
	売 上 高			営 業 利 益		
	2006年9月期	前 期	増 減	2006年9月期	前 期	増 減
漁業・養殖ユニット	123	107	16	3	1	2
北米ユニット	211	193	18	18	21	△ 3
水産商事ユニット	374	410	△ 36	18	15	3
荷受ユニット	1,802	1,745	57	4	6	△ 2
戦略販売ユニット	210	138	72	1	1	0
水産セグメント計	2,719	2,593	126	43	44	△ 1
加工食品ユニット	459	398	61	14	14	0
畜産ユニット	148	177	△ 29	3	1	2
化成品ユニット	58	55	3	6	6	0
アジア・オセアニアユニット	141	123	18	4	4	0
食品セグメント計	805	753	52	26	25	1
保管・物流セグメント	73	78	△ 5	7	11	△ 4
そ の 他	54	59	△ 5	5	2	3
全 社				△ 18	△ 20	2
合 計	3,651	3,483	168	64	62	2

5. 水産セグメント

売上高



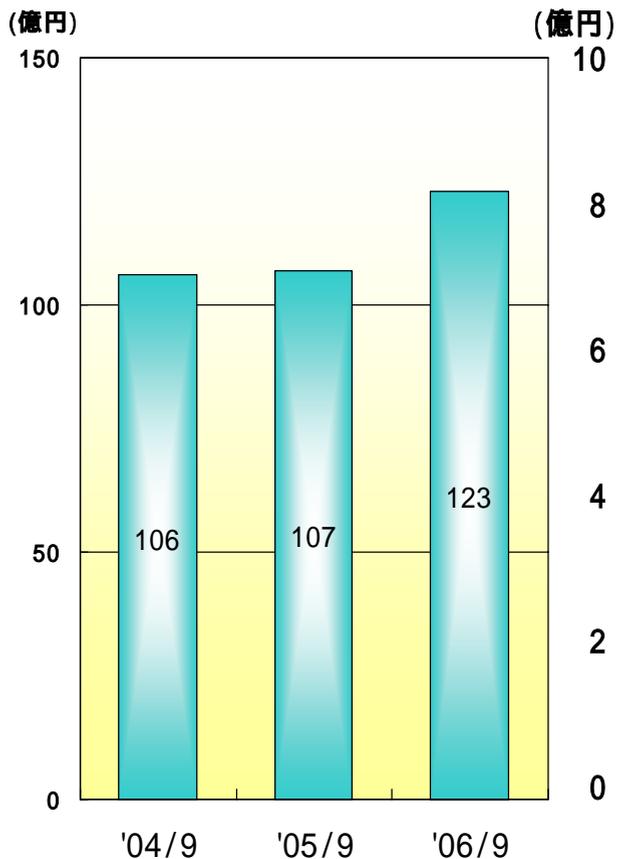
営業利益



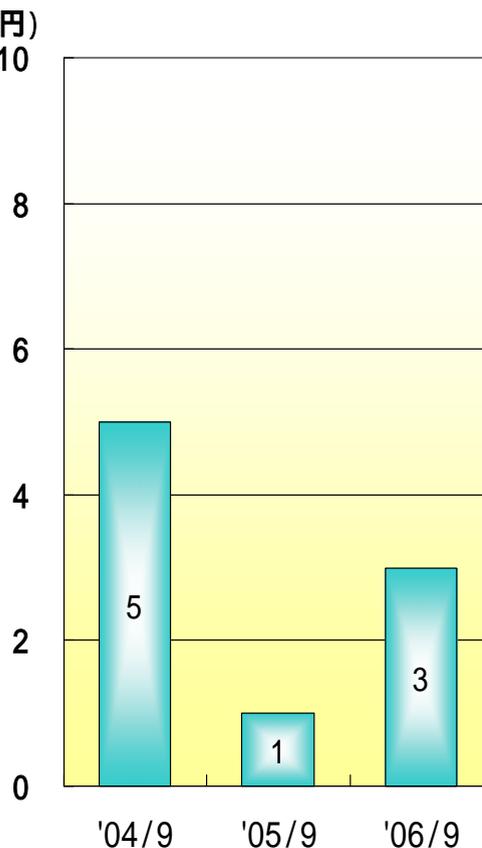
- 戦略販売ユニット
- 荷受ユニット
- 水産商事ユニット
- 北米ユニット
- 漁業・養殖ユニット

5-1. 漁業・養殖ユニット

売上高



営業利益

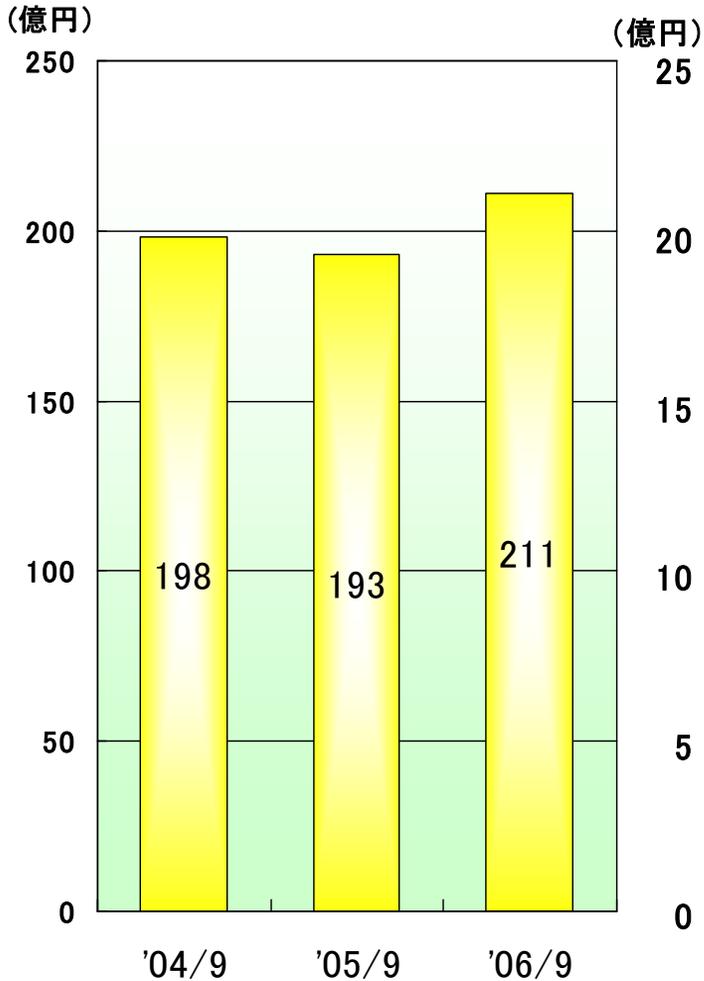


トピックス

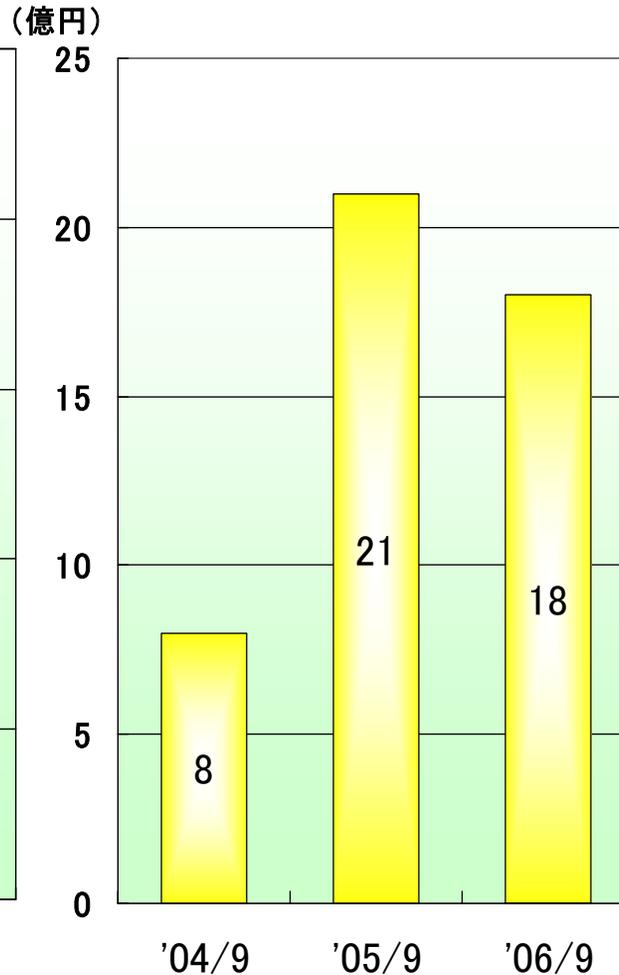
1. 養殖魚
(カンパチ・はまち・真鯛)
市況堅調により利益拡大
2. 養殖クロマグロの出荷は
計画通りの進捗
3. 海外合弁えび事業
漁獲効率は改善
燃油の更なる高騰
欧州向け販売再開の延期

5-2. 北米ユニット

売上高



営業利益



トピックス

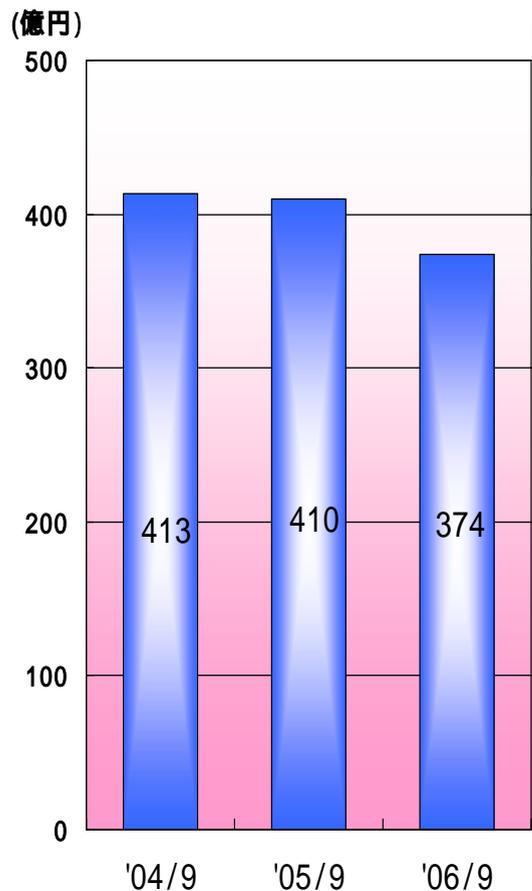
1. すりみ・助宗フィレー
需要堅調・高値維持
2. 助子の相場低迷等による
収益悪化
3. 日本国内すりみ価格推移
(米国FA級 円/Kg)

小口需要家渡し価格

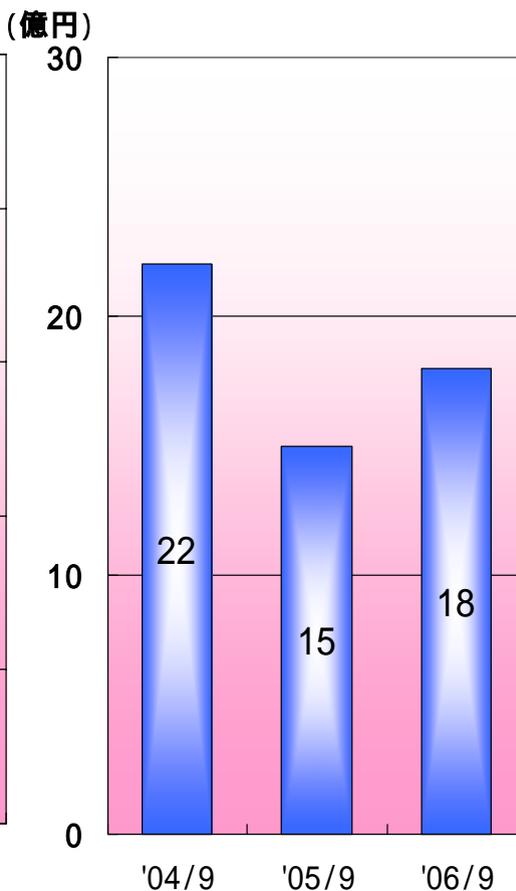
04.3	04.9	05.3	05.9	06.3	06.9
320	350	390	440	440	450

5-3. 水産商事ユニット

売上高



営業利益



トピックス

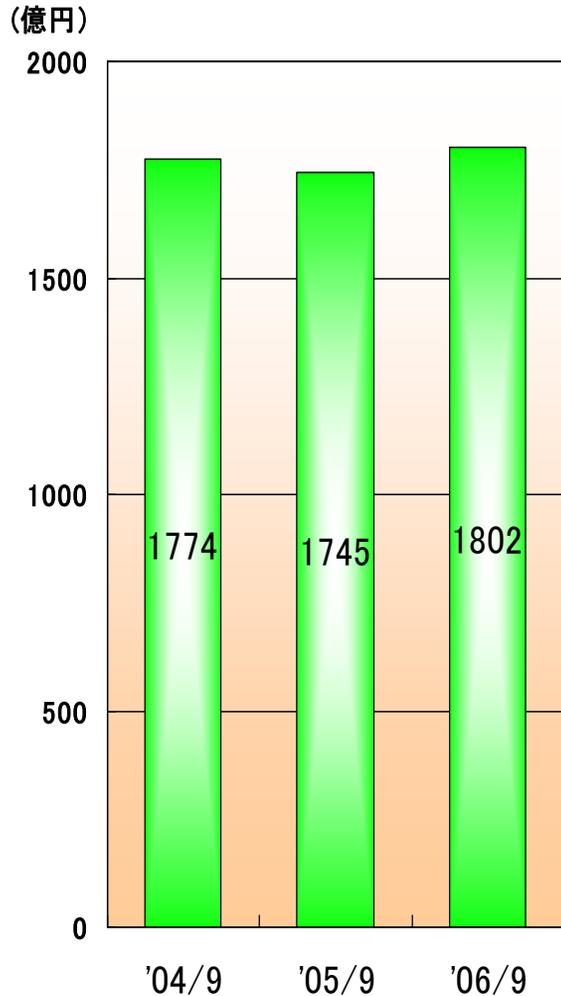
1. 利益重視の買付による取扱い数量減に伴う売上高の減少
2. 為替の影響を受けず計画通りの営業利益
3. 世界的な水産物需要の高まりにより白身魚・鮭等を中心に更に相場上昇

マルハの取扱数量及び魚価(参考)

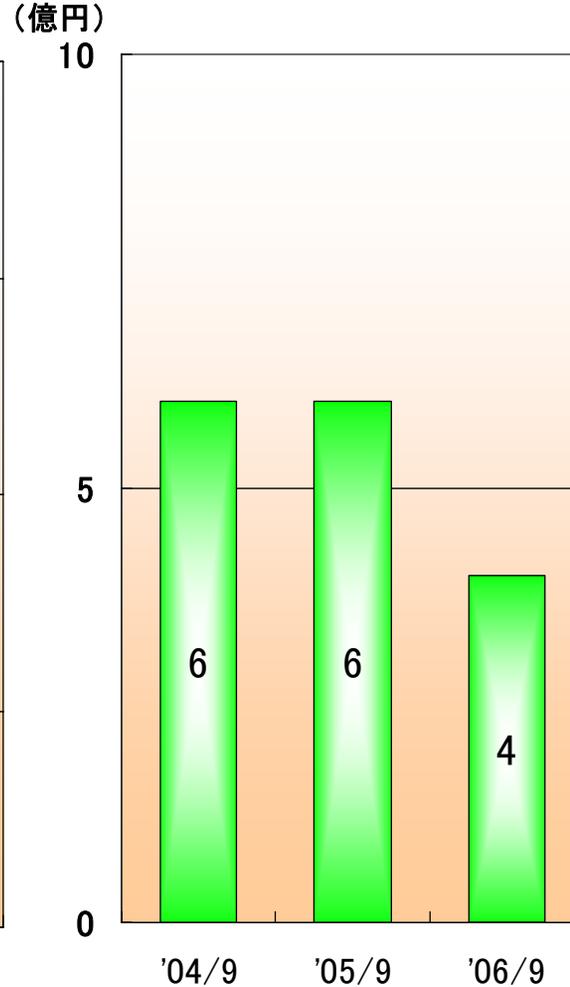
	06/09	05/09	増減
数量 (千トン)	100	108	8
魚価 (円/Kg)	762	687	+ 75

5-4. 荷受ユニット

売上高



営業利益



トピックス

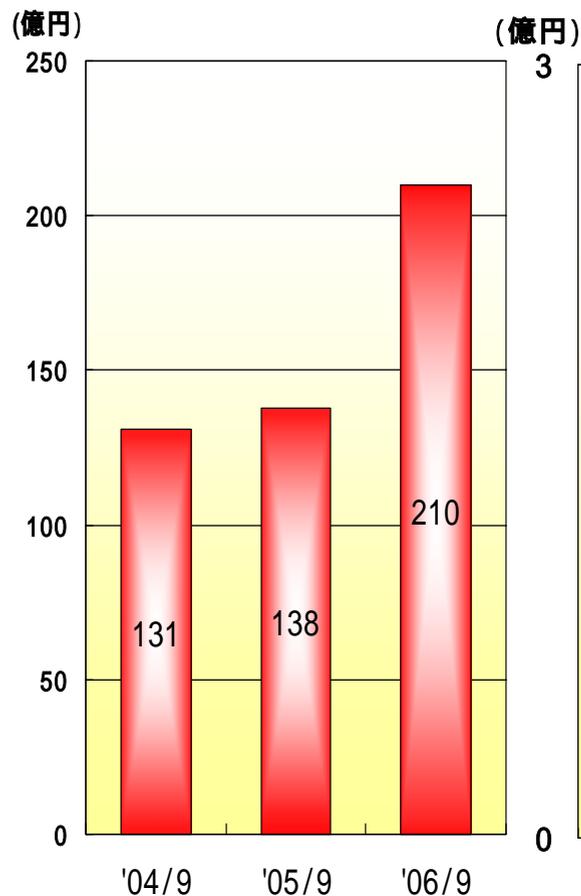
1. 取扱数量(千トン)・単価(円/Kg)

		4月～9月		
		2005年	2006年	差異
鮮魚	数量	94	90	△4%
	単価	737	798	+8%
冷凍魚介類	数量	83	83	±0%
	単価	769	810	+5%
魚介類	数量総計	233	227	△3%
	平均単価	740	774	+5%

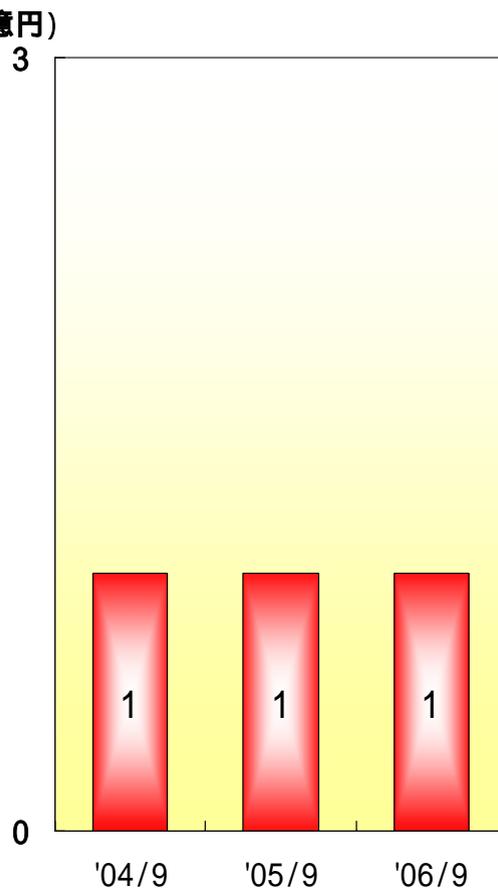
2. 鮮魚・冷凍魚共に価格上昇
3. 鮮魚の搬入量減少
4. 効率化・経費削減努力継続
5. 一部高値在庫の早期販売による営業損失計上

5-5. 戦略販売ユニット

売上高



営業利益

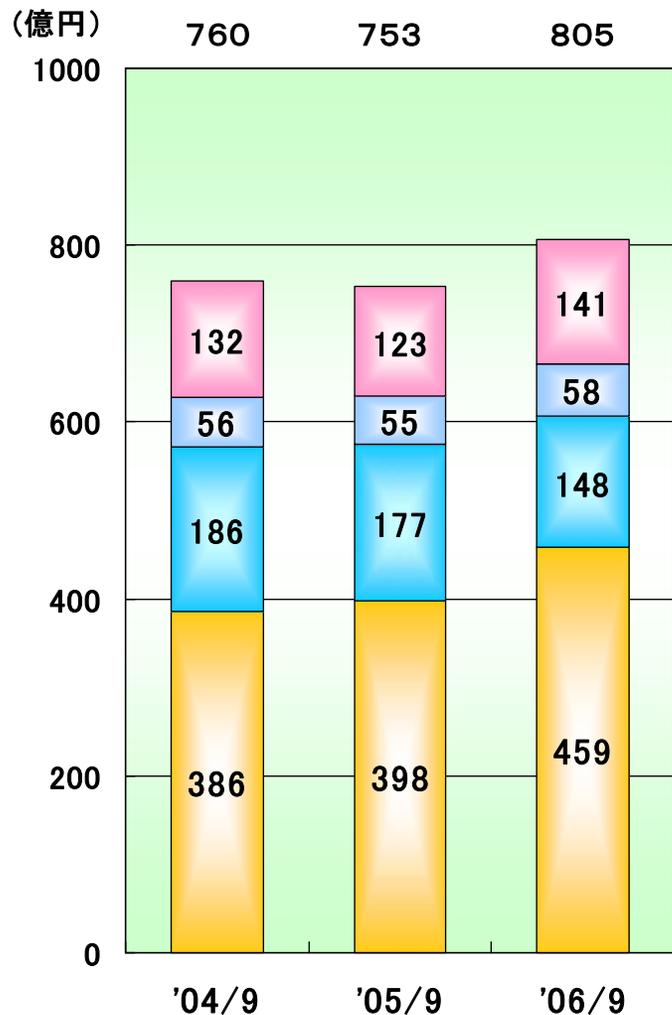


トピックス

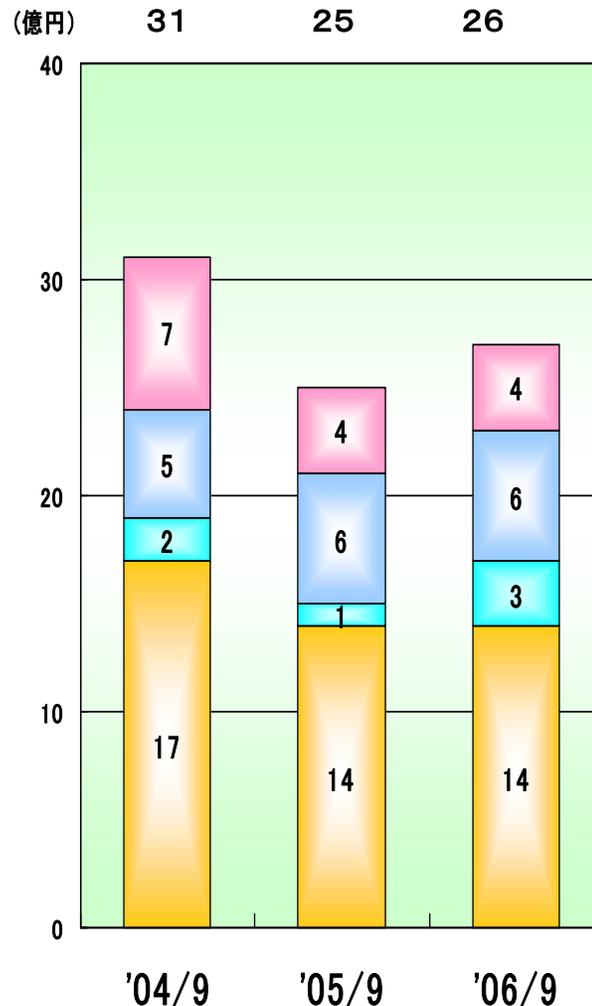
1. 北州食品の売上高寄与
2. 積極的な販売による新規顧客獲得などで増収
3. マグロなど加工用原料価格高騰による加工コスト増

6. 食品セグメント

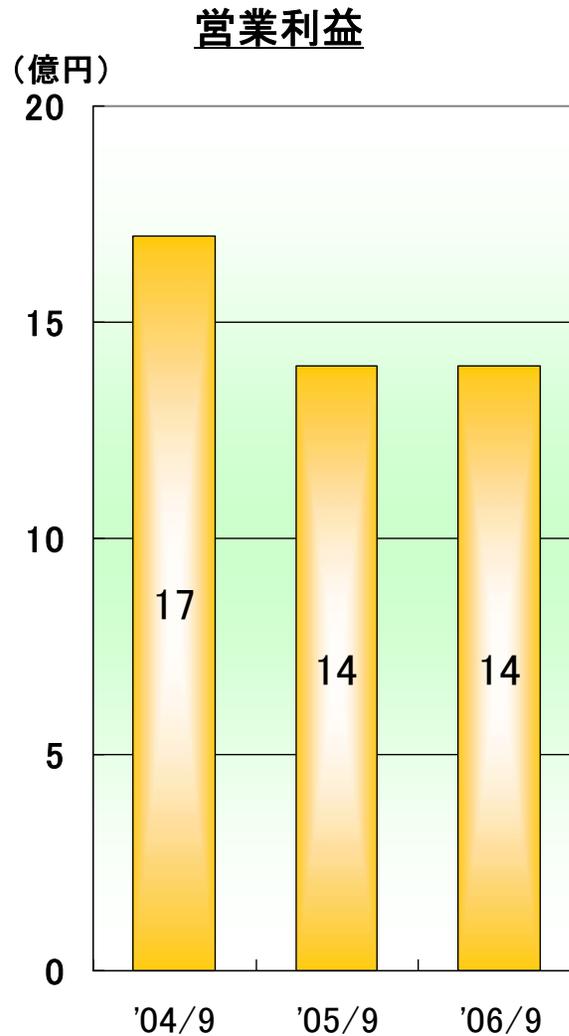
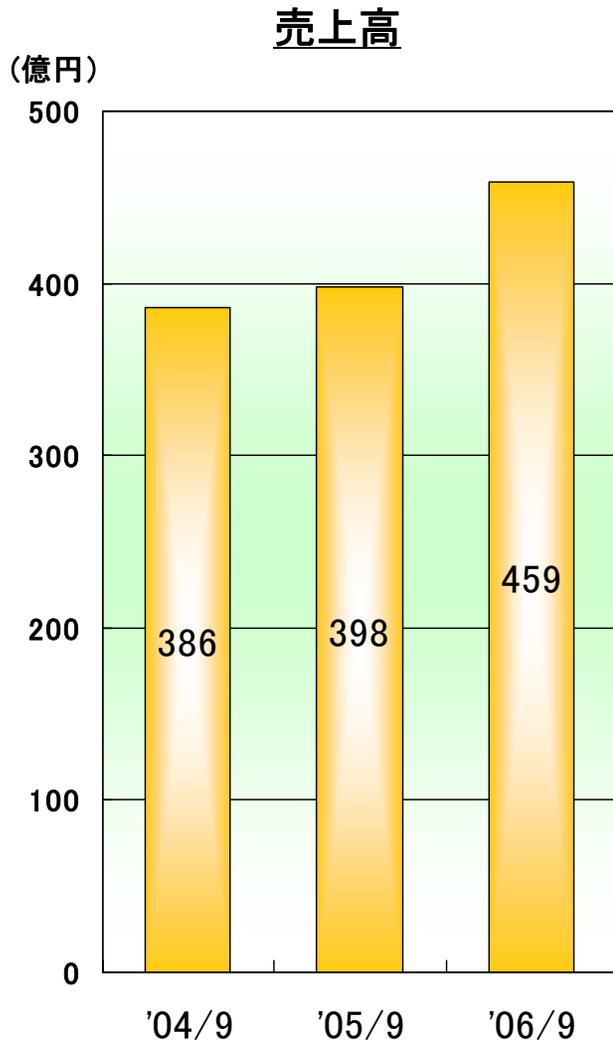
売上高



営業利益



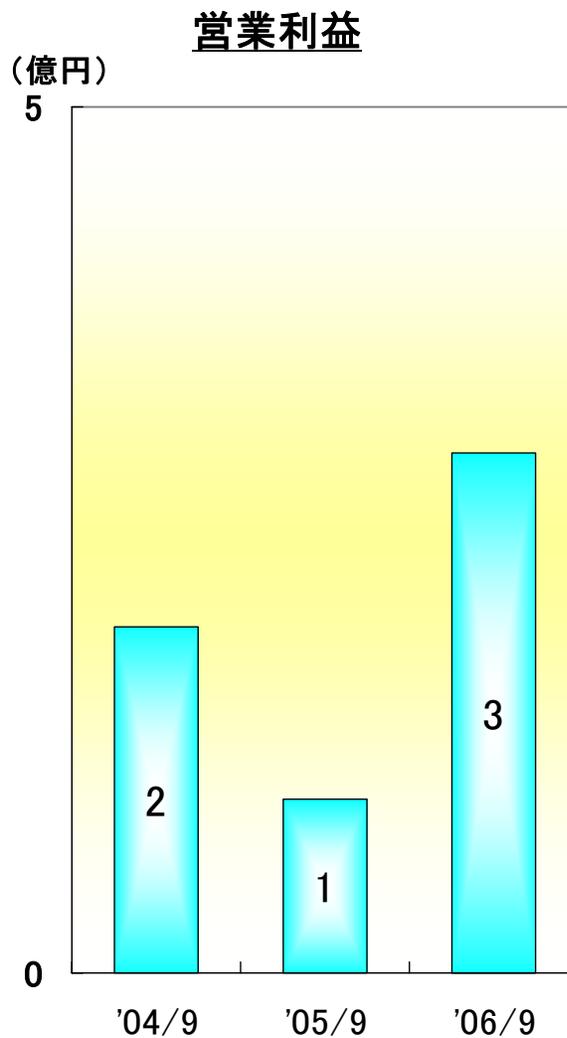
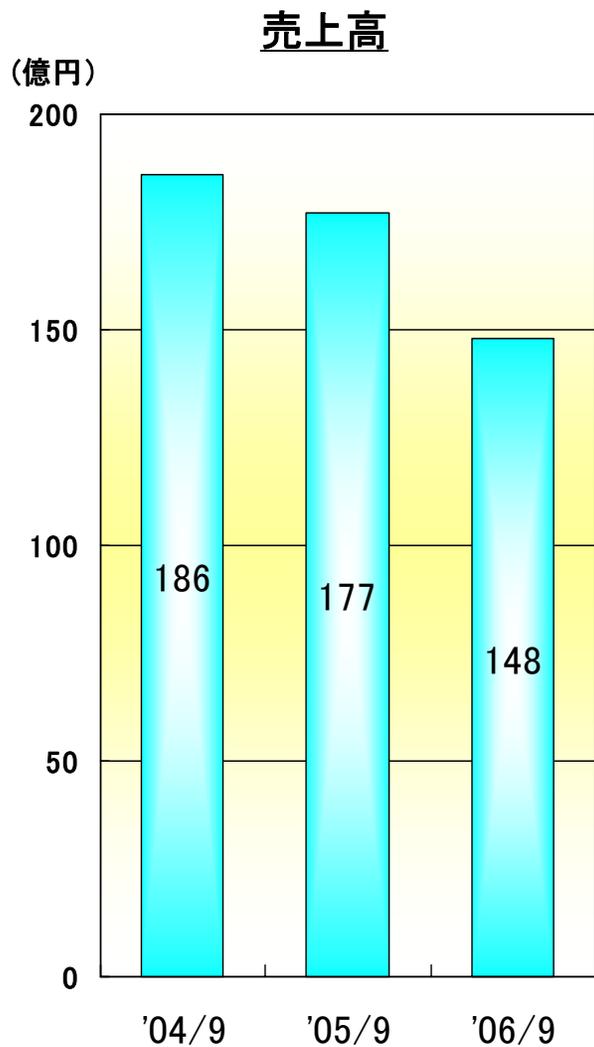
6-1. 加工食品ユニット



トピックス

1. カップデザート
販売好調
下関工場稼動も予定通り
2. ちくわ・魚肉ソーセージ
は実質値上げ実施
3. アイシア
新規連結対象に
4. 冷凍食品
原料価格のアップと
円安による輸入品コスト
アップにより大幅減益

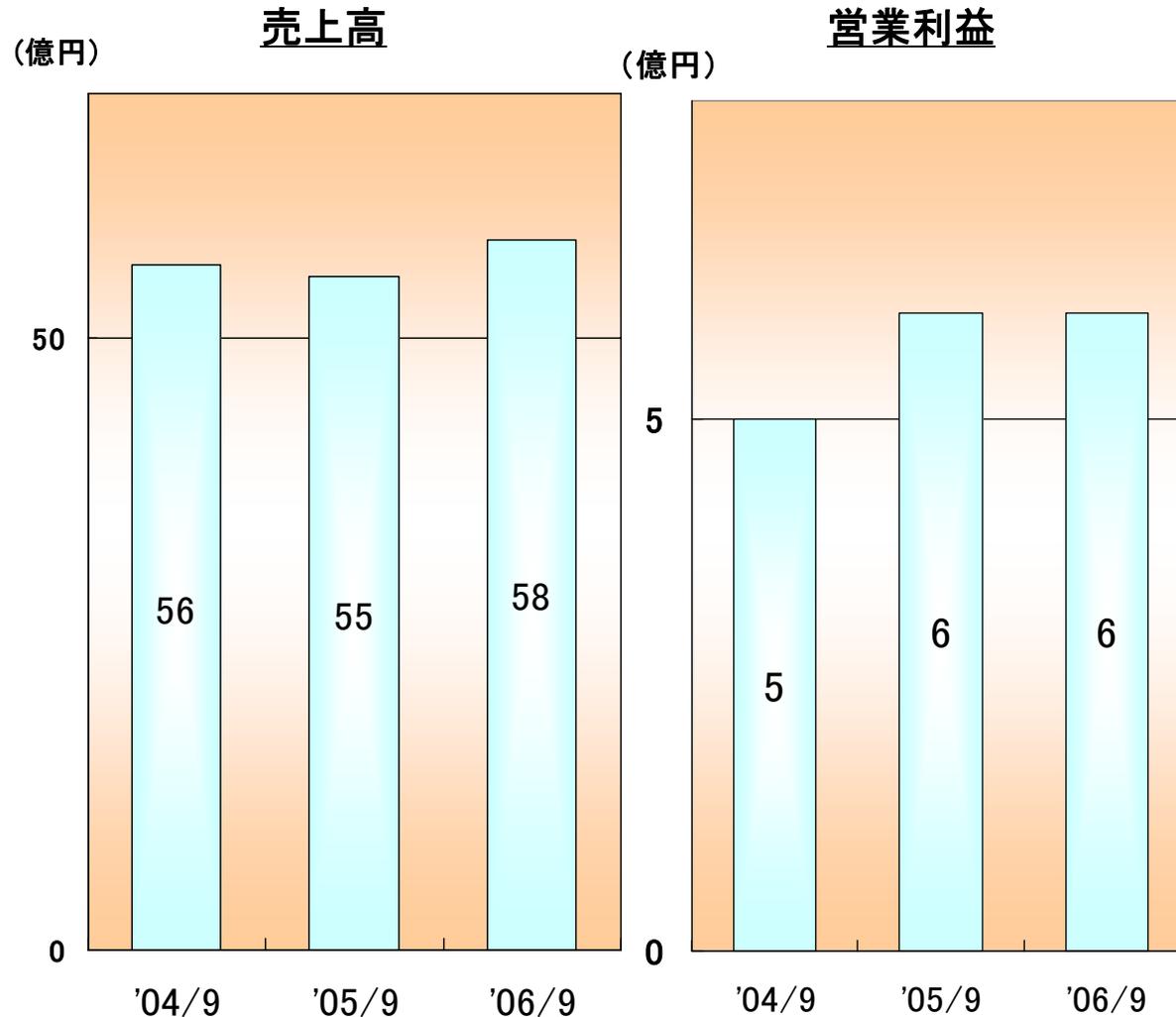
6-2. 畜産ユニット



トピックス

1. 米国産チルドポーク
本格販売開始
2. 飼料事業好調
3. 冷凍ポーク相場低迷

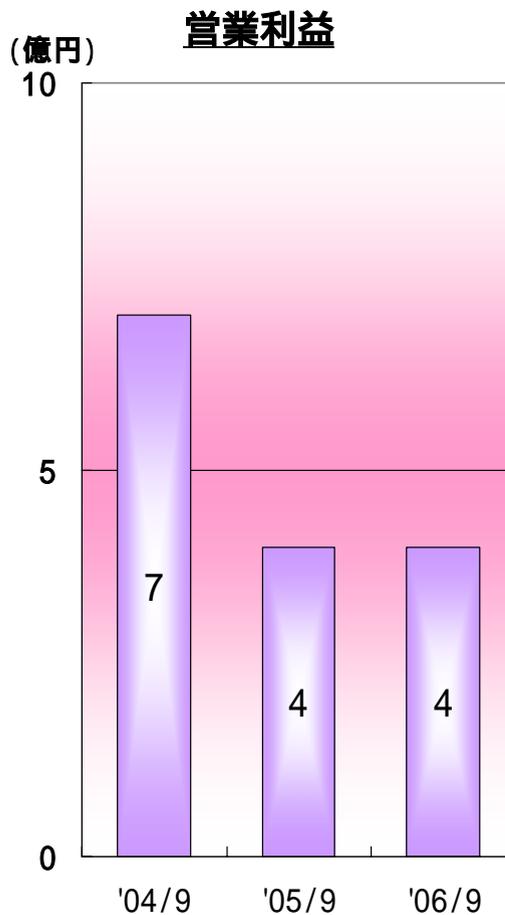
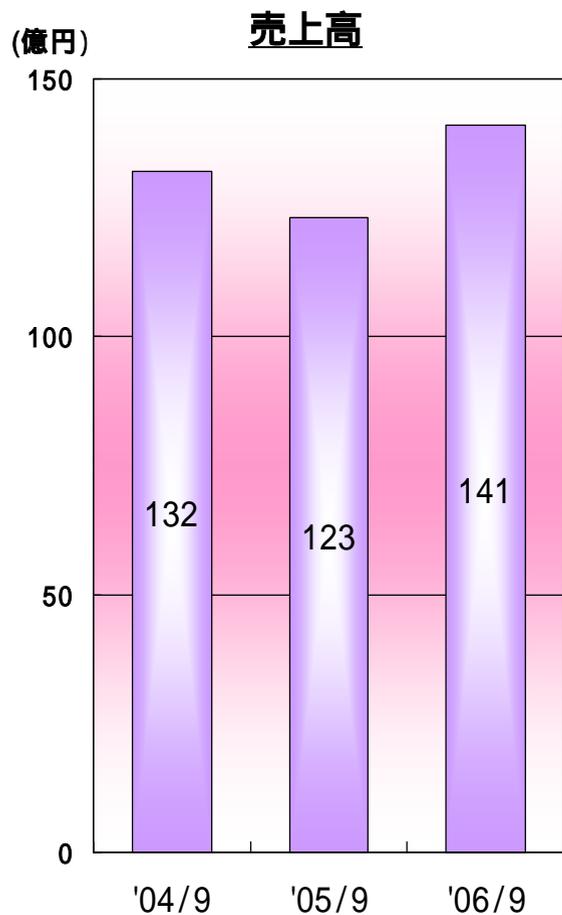
6-3. 化成品ユニット



トピックス

1. ヒアルロン酸、DHAの販売は順調
2. 乾燥食品
輸入乾燥品
(野菜類・畜産加工品)
コストアップによる
売上げ低迷
3. 調味料
新商品投入の遅れ

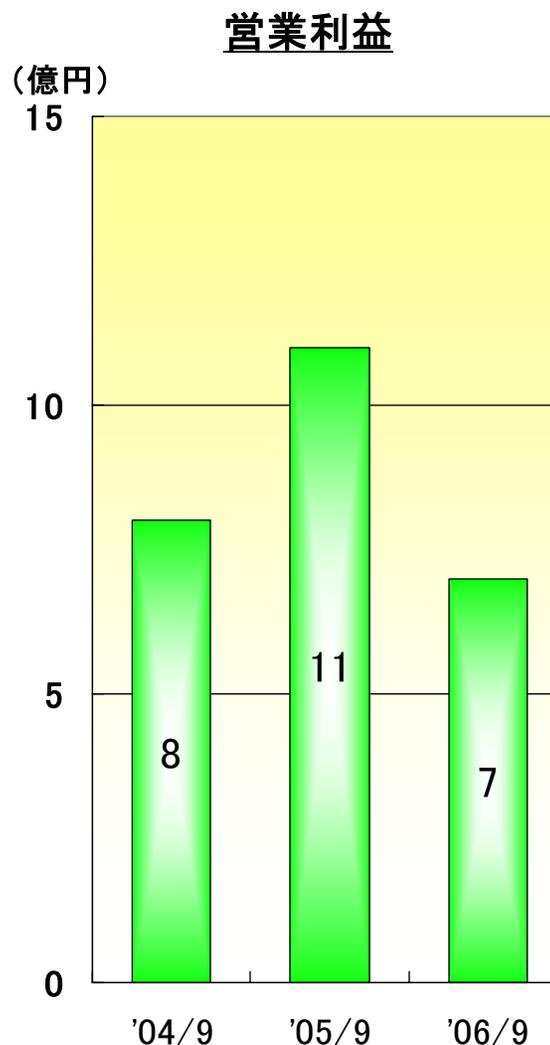
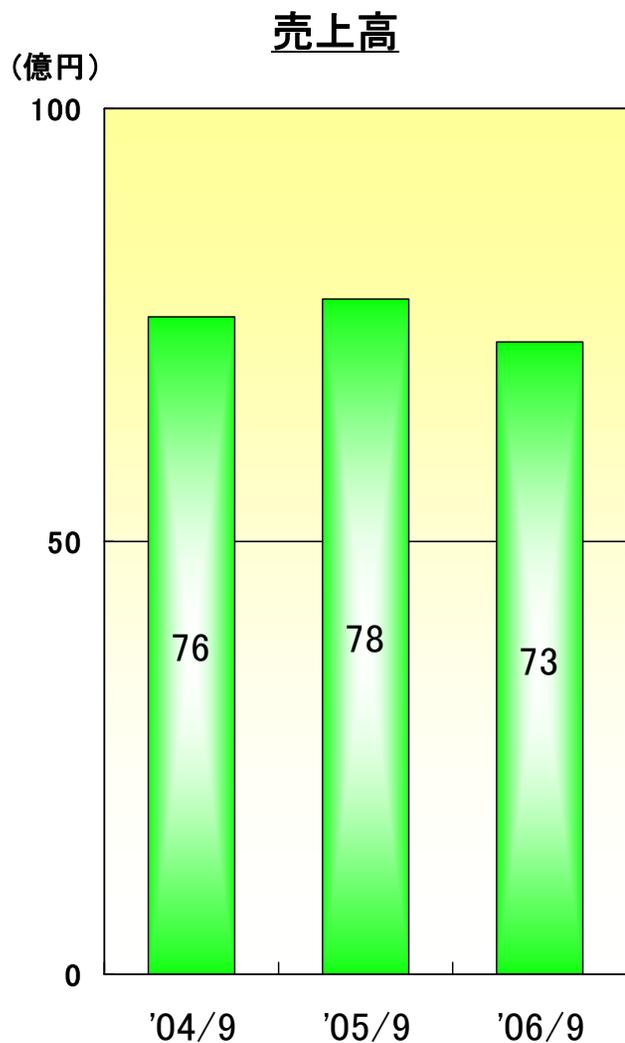
6-4. アジア・オセアニアユニット



トピックス

- 加工原料(冷凍加工用原料および缶詰・レトルトパウチ用マグロ)高騰のため生産コスト上昇
- タイバーツ高(対ドル)のため、米国向け・日本向け商材の利益率低下
- 冷凍新工場
6月完工により
生産能力向上

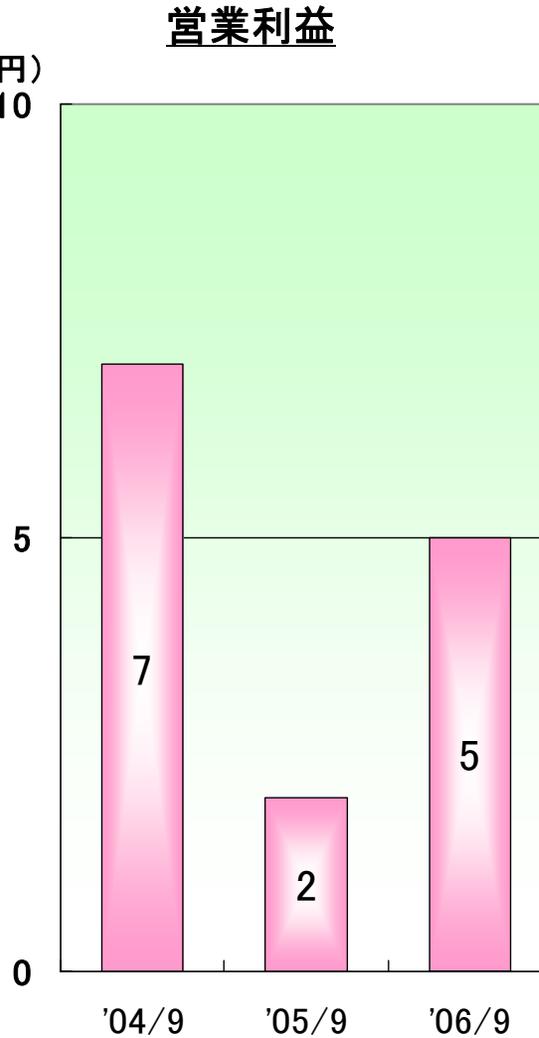
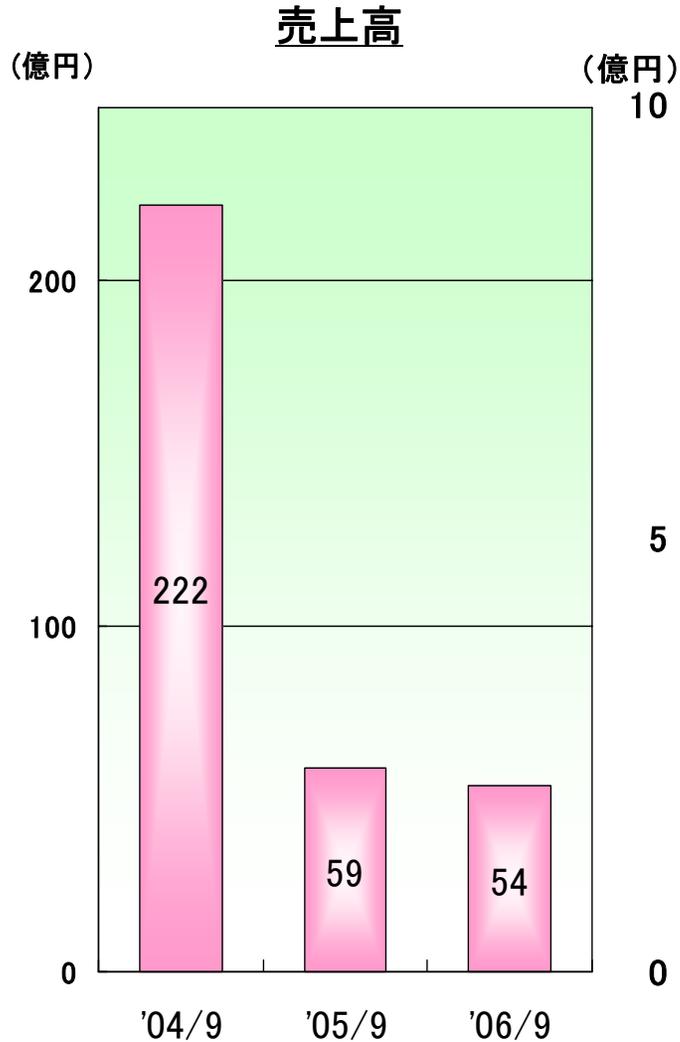
7. 保管・物流セグメント



トピックス

1. 保管需要は堅調
2. 一部貨物の減少による減収・減益
3. 嵩高貨物の取扱い増による収益率悪化
4. 関東を中心に保管料入出庫料等の値上げ交渉開始

8. その他事業



トピックス

- 赤字事業の縮小
- マルハレストランシステムズ
日新タンカーの営業譲渡
(06年9月末)

下期影響

売上高 △ 30億円
営業利益 △ 1億円

9. 貸借対照表

(単位: 億円)

	06年9月	06年3月	増減		06年9月	06年3月	増減
流動資産	2,022	1,928	94	流動負債	2,053	1,883	170
現預金	163	376	△ 213	仕入債務	353	267	86
売上債権	780	568	212	短期借入金	1,460	1,419	41
有価証券	44	22	22	その他	240	197	43
たな卸資産	863	784	79	固定負債	1,339	1,345	△ 6
短期貸付金	21	15	6	長期借入金	1,129	1,187	△ 58
繰延税金資産	26	44	△ 18	その他	210	158	52
貸倒引当金	△ 24	△ 26	2	負債合計	3,392	3,228	164
その他	148	145	3	資本金	290	250	40
固定資産	1,935	1,919	16	剰余金	155	200	△ 45
有形固定資産	1,025	1,027	△ 2	自己株式	△ 13	△ 2	△ 11
無形固定資産	108	59	49	株主資本	432	448	△ 16
(内 のれん)	50	0	50	評価・換算差額等	5	17	△ 12
投資その他資産	802	833	△ 31	少数株主持分	128	154	△ 26
				純資産合計	565	619	△ 54
資産合計	3,957	3,847	110	負債・資本計	3,957	3,847	110

10. 2007年3月期ユニット別予想

(単位: 億円)

	売 上 高							営 業 利 益							
	上 期		下 期		通 期			増 減	上 期		下 期		通 期		増 減
	06/09 実績	前期	計画	前期	07/03 計画	前期	06/09 実績		前期	計画	前期	07/03 計画	前期		
(1)漁業・養殖ユニット	123	107	118	101	241	208	33	3	1	5	△ 4	8	△ 3	11	
(2)北米ユニット	211	193	203	204	414	397	17	18	21	1	12	19	33	△ 14	
(3)水産商事ユニット	374	410	417	406	790	816	△ 26	18	15	23	6	41	21	20	
(4)荷受ユニット	1,802	1,745	1,920	1,903	3,722	3,648	74	4	6	16	10	20	16	4	
(5)戦略販売ユニット	210	138	209	210	419	348	71	1	1	4	4	5	5	0	
水産セグメント計	2,719	2,593	2,867	2,824	5,586	5,417	169	43	44	49	28	93	72	21	
(6)加工食品ユニット	459	398	489	379	948	777	171	14	14	18	5	32	19	13	
(7)畜産ユニット	148	177	166	147	313	324	△ 11	3	1	4	3	7	4	3	
(8)化成品ユニット	58	55	60	62	118	117	1	6	6	7	4	12	10	2	
(9)アジア・オセアニアユニット	141	123	165	162	306	285	21	4	4	6	6	10	10	0	
食品セグメント計	805	753	880	750	1,685	1,503	182	26	25	35	18	61	43	18	
(10)保管物流セグメント	73	78	73	75	146	153	△ 7	7	11	10	11	17	22	△ 5	
そ の 他	54	59	29	60	83	119	△ 36	5	2	5	5	10	7	3	
全 社								△ 18	△ 20	△ 18	△ 17	△ 36	△ 37	1	
合 計	3,651	3,483	3,849	3,709	7,500	7,192	308	64	62	81	45	145	107	38	

11. 2007年3月期予想

	07年3月期	06年3月期比
売上高	7,500億円	104%
営業利益	145億円	136%
経常利益	125億円	103%
当期純利益	40億円	86%

06年3月期対比のポイント

1. 水産セグメントの増収(+169億円)・増益(+21億円)
2. 食品セグメントの増収(+182億円)・増益(+18億円)

(参考資料1) ユニット別売上高・営業利益推移

(単位: 億円)

	売上高				営業利益			
	07/03 見通し	06/03 実績	05/03 実績	04/03 実績	07/03 見通し	06/03 実績	05/03 実績	04/03 実績
漁業・養殖ユニット	241	208	216	230	8	△ 3	6	△ 4
北米ユニット	414	397	369	358	19	33	13	15
水産商事ユニット	790	816	828	820	41	21	38	39
荷受ユニット	3,722	3,648	3,670	3,808	20	16	18	14
戦略販売ユニット	419	348	281	256	5	5	3	3
水産セグメント計	5,586	5,417	5,364	5,472	93	72	78	67
加工食品ユニット	948	777	771	753	32	19	30	27
畜産ユニット	313	324	369	367	7	4	4	4
化成品ユニット	118	117	115	117	12	10	10	10
アジア・オセアニアユニット	306	285	266	240	10	10	12	8
食品セグメント計	1,685	1,503	1,521	1,477	61	43	56	49
保管物流セグメント	146	153	150	159	17	22	16	16
その他	83	119	437	471	10	7	15	17
全社					△ 36	△ 37	△ 31	△ 31
合計	7,500	7,192	7,472	7,579	145	107	134	118

(参考資料2) 2007年3月中間期魚介類販売数量・単価

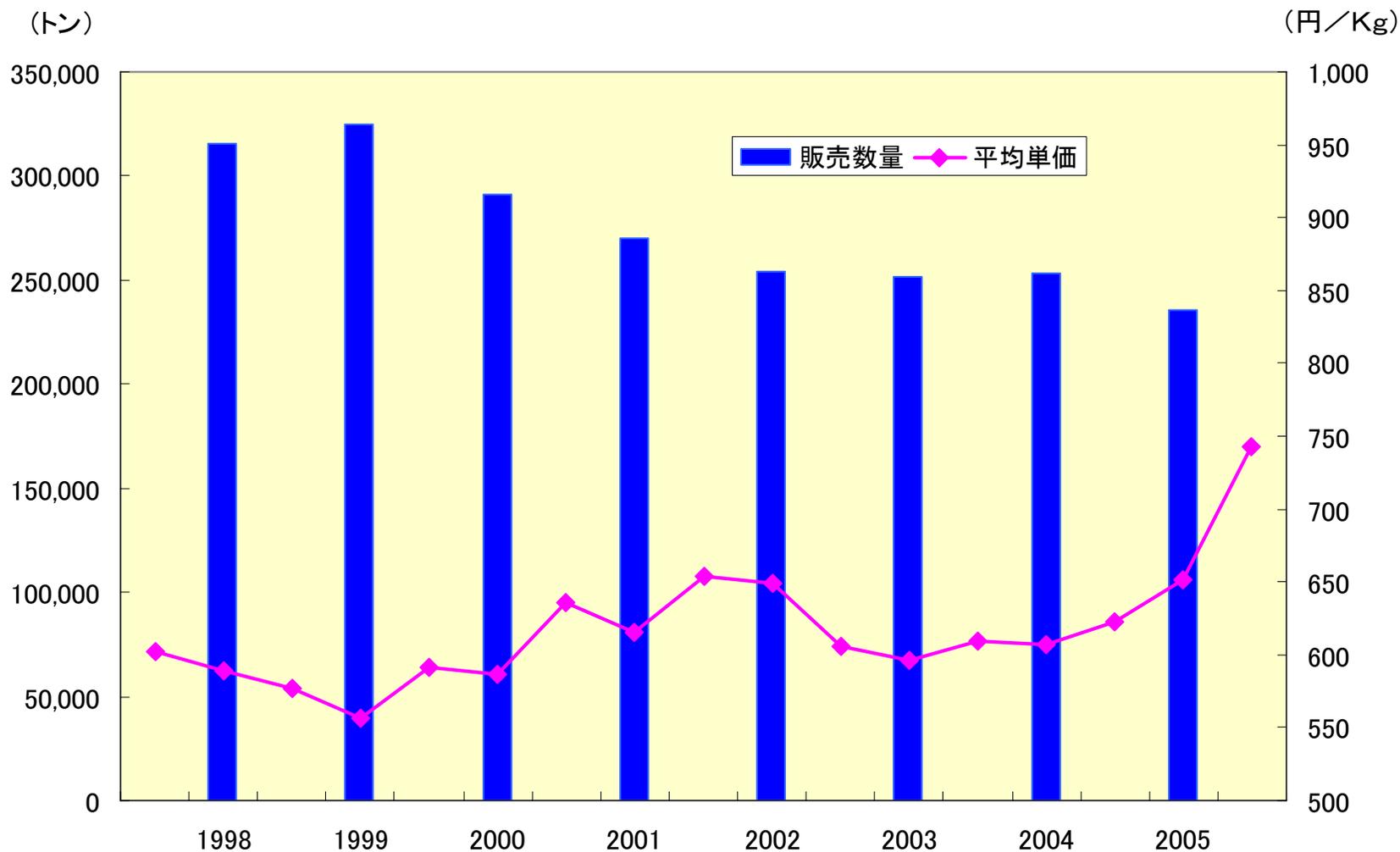


(数量:トン、金額:百万円、単価:円/Kg)

	2006年9月期			2005年9月期			前年対比					
	数量	金額	単価	数量	金額	単価	数量		金額		単価	
							増減	率(%)	増減	率(%)	増減	率(%)
南方魚	5,980	3,126	523	7,591	4,068	536	△ 1,611	79%	△ 942	77%	△ 13	98%
北方魚	12,577	5,997	477	16,686	6,770	406	△ 4,109	75%	△ 773	89%	71	117%
鮭・鱒	5,919	3,984	673	5,710	3,350	587	209	104%	634	119%	86	115%
魚卵	4,923	5,458	1,109	3,492	4,788	1,371	1,431	141%	670	114%	△ 262	81%
鰹・鮪	2,630	6,004	2,283	2,302	4,429	1,924	328	114%	1,575	136%	359	119%
タコ・イカ	10,439	7,671	735	9,978	6,796	681	461	105%	875	113%	54	108%
エビ	19,727	21,545	1,092	20,043	21,550	1,075	△ 316	98%	△ 5	100%	17	102%
カニ	2,305	2,830	1,228	2,279	2,902	1,273	26	101%	△ 72	98%	△ 45	96%
貝類	4,790	6,088	1,271	4,327	6,260	1,447	463	111%	△ 172	97%	△ 176	88%
すり身	21,436	6,178	289	23,889	6,484	271	△ 2,453	90%	△ 306	95%	18	107%
その他	8,827	6,964	789	11,447	6,577	575	△ 2,620	77%	387	106%	214	137%
合計	99,553	75,845	762	107,744	73,974	687	△ 8,191	92%	1,871	103%	75	111%

(比較のため、原料用鰹・鮪を除く)

(参考資料3) 魚介類販売数量・単価

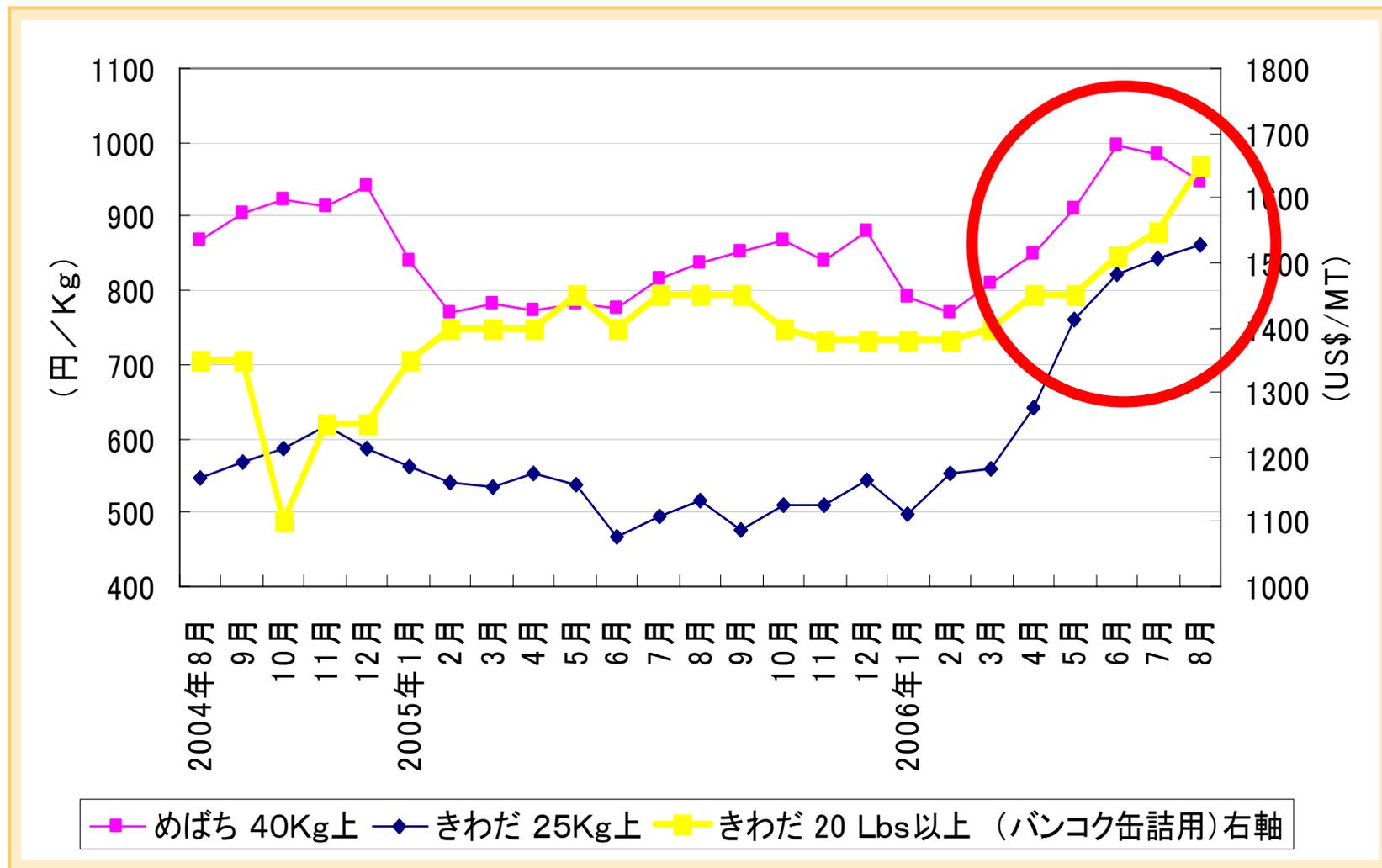


(参考資料4) 主要水産物卸売価格対比

(2006年4月～9月平均／前年同期)

築地市場			2005年	2006年(円/Kg)	増減
鮮魚	鮮魚平均		755	837	+11%
	鮪(国内)		2,373	2,903	+22%
	鮪(輸入)		2,729	3,081	+13%
	はまち(養)		686	832	+21%
	かんぱち(養)		902	1,582	+75%
	まだい(養)		764	1,046	+37%
冷凍	本鮪		2,677	3,095	+16%
	めばち		803	929	+16%
	えび		1,317	1,340	—
	鮭鱒		582	633	+9%
	いか		576	588	—
	ホキ		372	417	+12%
	かれい		602	704	+17%
	すりみ		310	358	+15%
	ほたて		1,480	1,201	△19%
	助子(たらこ)		2,210	2,019	△9%

(参考資料5) 冷凍マグロ相場推移(築地・バンコク)



当資料に記載されております計画や見通し、戦略など歴史的事実でないものは将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点で入手できる情報から得られた判断に基づいております。実際の業績は様々な重要要素により、これらの見通しとは異なる結果をもたらさうることをご承知おきください。また、本資料は著作権やその他本書類にかかる一切の権利は株式会社マルハグループ本社に属します

MARUHA